



第2回 中越編

～水利の歴史と新潟農業の今～

用水の一滴が血の一滴。柏崎市を流れる鯖石川にある藤井堰(ぜき)。その近くに建つ石碑には、水争いを繰り広げた地域の歴史が深く刻み込まれています。農業用水が田畑を潤し、多彩な農産物を栽培するようになった現在でも、用水の大切さは変わりません。

柏崎周辺や日本一の大河、信濃川が流れる長岡周辺でも用水路を開削し、コメどころの礎を築きました。先人の苦難の歩みをたどりながら、中越地域の農業の明日を探ります。



■と き 11月11日(金) 18:30～20:00 (受付開始 18:00)

■ところ 長岡市中央公民館 (長岡市幸町2-1-1、さいわいプラザ内) 大ホール

■定員 50人 (参加無料)

アクセス図



プログラム

○講演「福島江開削に学ぶ」

今井 雄介 さん (長岡郷土史研究会顧問)

○報告 高橋 正人さん (農事組合法人花の香代表理事)

石黒 芳和さん (農事組合法人矢田営農組合代表理事)

○座談会「水利の恵みとこれからの中越地域の農業」

ホスト役 伊藤 忠雄さん(新潟大学名誉教授)

出演 武田 勤さん(柏崎土地改良区事務局長)、
今井さん、高橋さん、石黒さん



(ホスト役:伊藤忠雄さん)

申し込み方法

「実りの明日へ」連続講座中越編と明記し、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお申し込みください。
10月31日(月)必着。◆はがき：〒950-8535 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報社広告部 ◆ファクス：025-385-7476 (下記の申込書用紙をご利用ください。) ◆メール：minoriniigata-nippo.co.jp
※応募多数の場合は抽選。当選者には参加証を発送します。寄せられた個人情報は、本キャンペーンのみに使用します。
[問い合わせ]「水利が拓く 実りの明日へ」事務局 (広告部内) 新潟市中央区万代3-1-1 電話 025-385-7473 (平日9:30～17:30)

主催：農林水産省北陸農政局 共催：新潟日報社 後援：新潟県、新潟県土地改良事業団体連合会、JAグループ新潟

「実りの明日へ」連続講座中越編 参加申込書

氏名		年齢	☎
住所	〒	—	

FAX:025-385-7476

「水利が拓く実りの明日へ」事務局